

2025年度

ニチキッズさっぽろ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月20日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、寄り添ってきた。おもいっきり楽しむ保育は普段の生活の中にも子どもを真ん中に考え取り組んできた。
子供の発達援助	子どもの姿を想定した保育計画を立案し日々保育を行っているが、計画に捉われず後期にやっていきたい保育内容を職員と検討しながら新たに進めていった。今後もより子どもの発達、実状に沿った保育を心がけていきたい。
保護者に対する支援	送迎の際にその日の子どもの様子や成長した姿を共有していくようにしている。保護者との会話を大事にし、信頼関係を築けるように対応してきた。また保護者が参加できる行事もできるだけ多く取り入れていった。
保育を支える組織的基盤	外部研修・他園の公開保育見学・内部研修、定期的な職員面談・職員会議・日々の昼礼等を実施し、スキルアップと職員同士の話し合いの場を大事にしてきた。研修や他園で学んだこと等を個人の視野を広げていき、質の向上を目指したい。

総評
園の保育理念や保育方針を理解した上で保育計画を立案し取り組んできた。年度の途中で3歳以上児の退園が数名続き、年度の途中で職員と保育内容を改めて検討し、子どもたちが楽しめるような保育内容を新たに進めてきた。園庭が無い園ではあるが、保育の充実を図ったことで、良い方向へ向かえたと感じる。年度後期に事故トラブルもあり、改めて基本的保育のあり方、マニュアルの共通確認を徹底していくよう取り組んでいきたい。 次年度も今ある環境や保育に満足せず、日々振り返り考えて保育運営していきたい。